

東日本大震災
あの日を未来につなぐ、宮城のいま。

2019.7.11

Vol.

39

July, 2019

ナウイズ
毎月11日発行

NOW IS.



稲垣潤一

in 松島・七ヶ浜

撮影地:七ヶ浜国際村



瑞巖寺でのライブは
不思議で、貴重な経験でした。



NOW IS. 対談

Talk Session

in 松島
MATSUSHIMA

音楽を通して、
松島の歴史と
復興を見てほしい。
「松島パークフェスティバル」

2015年から始まった「松島パークフェスティバル」。5回目を迎える今年は、仙台市出身のミュージシャン稲垣潤一さんごトリを務めました。フィナーレステージの舞台は、国宝・瑞巖寺の本堂！熱が冷めやらぬ翌日、実行委員長の新田一修さんと稲垣さんが対談しました。

お寺で、海で、芝生で。
穴場スポットで音楽を。

稲垣潤一さん（以下稲垣） 瑞巖寺の本堂で歌うなんて、なか

なかできない経験でした。不思議な空気でしたね。僕は歌っているほうなので、お客さんからどんなふうに見えたか分からないけど、ずいぶん幻想的で、神秘的だったようだね。

新田一修さん（以下新田） 聞いていて気持ちよかったですよ。本堂は、普段から住職がお経を読んで、木魚を鳴らす場所ですよ。その雰囲気そのまま残したような響きでした。瑞巖寺本堂ライブは夜の開催だったので、円通院の紅葉ライトアップに使っている照明をスタッフご

いながき
じゅんいち

Inagaki Junichi
稲垣潤一

PROFILE

1953年仙台市生まれ。中学時代からバンドをはじめ、仙台市でドラムボーカルとして活動したのち、「雨のリグレット」でメジャーデビュー。代表曲に「クリスマスキャロルの頃には」などがある。

にった
ひろのぶ

Nitta Hironobu
新田一修

PROFILE

松島ブチホテルびすとろアパロンの支配人。「松島パークフェスティバル」実行委員長。「松フェス」は、仙台・東京でミュージシャンとして活躍する佐藤達哉さんとともに立ち上げた。びすとろアパロンでもライブを開催。

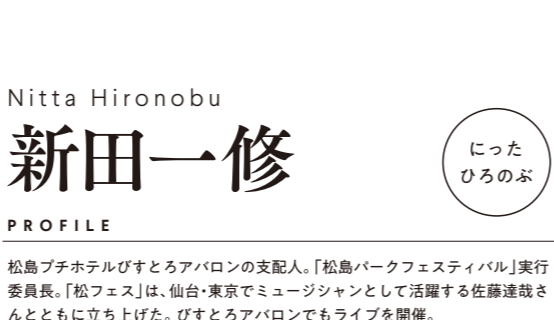
とお借りしたんです。最初はできるかな、と言われたのですが、すごくよかったですね。稲垣「夕暮れから夜になって、照明がついて。一番気持ちいい時間だったよね。僕は今年初めて参加したけど、とてもいい取り組みだね。松島パークフェスティバルの初回はいつだったんだっけ。

松島には、日本三景の町として、震災から立ち上がった町として、深い意味があります。そういう場で音楽をやれたら、と。最初は仲間で、手作りで始めたんですよ。稲垣「今年は何ステージ？ 新田「今年は14ステージです。170組のミュージシャンに出演していただきました。松島の海を背景に芝生で音楽を聞ける「雄島ステージ」は気持ちいいですよ。観光船内で行われる「松島湾ライブクルーズ」は前夜祭として開催しました。

稲垣「松島は小さい時から、遠足や家族旅行でよく来た場所です。父が運転する車に乗って、仙台から国道45号を走って来たなあ。坂を下ると、右側に海が見える場所があるでしょう。あそこに来ると、ああ松島だったうれしくなった。新田「僕は生まれも育ちも松島町です。母が円通院の物産店部門で働いていたので、小さい時は、瑞巖寺と円通院のあたりが遊び場でした。池に入ったり、お坊さんに遊んでもらったり、今だったら考えられない（笑）。

だから、地元民だからこそ知っているような穴場スポットを、観光で来る方にも知ってほしいかったですよね。「松フェス」をきっかけにそういう場所を知ってもらえるのはうれしいです。稲垣「観光客は戻ってきているの？ 新田「はい。震災直前くらいまで回復しています。

新田「「松フェス」では、松島のお店などを巡ってスタンプをもらうと、記念Tシャツとかが貰えるスタンプラリーもやっているでしょう。こういうのがあると、楽しみ方が分かっていいよね。松島は県外の人も興味を持ってくれる場所だし、音楽というキーワードで良さを発見してほしい。



松フェスを通して、松島の
違った魅力を知ってもらえたら。



活躍する応援職員

SUPPORT POWER



「松島町の復興を完成させたい。そのために戻ってきた」。そう話す亀井さんは、37年間、松島町に奉職してきました。2018年3月に定年退職後、2019年4月に復興庁から復興支援専門員として松島町に戻ってきました。建設課建設班に配属され、松島大橋の架け替え工事を担当しています。

奉職以来15年間は、道路事業や下水道事業の工事に関する設計・監督、それ以降は、企画調整課長として、まちづくりや都市計画を中心に業務を行ってきました。

東日本大震災当時は教育課長として教育施設の復旧工事に尽力し、翌年に再び企画財政課に。復興計画に則り、復興庁との事業調整の窓口担当課長として業務にあたります。

特別名勝に指定されている松島は「景観に配慮した復興」を行わなければなりません。文化財保護法の規制がある中で、住民も参画し納得できるまちづくりを行うため、勉強会を開催。「景観と景色の違いは？」という疑問や、屋根や外壁の色の具体例などを勉強し、意見を出し合い、反映させた景観計画を策定しました。その取り組みは評価され、20

「復興期間の終了まで微力ではあります。尽力したい」。そう力強く話してくれました。



「家族のような存在」という建設課職員のみなさんと。

復興事業完成のために

15年に国土交通省の都市景観大賞において「景観づくり活動部門」で大賞（国土交通大臣賞）を受賞しました。

「住民参加のまちづくり」という言葉がない1980年代から、住民目線でのまちづくりを意識し、実践してきた亀井さん。「公務員は、住民に雇われていると考えています。もちろん、法的には町長なのですが、住民に雇われているので、自然と住民目線になるだけ。特別なことではなく、当たり前のことをしているだけだ」と言います。この町が、住民がとて好きなのだと感じました。

松島町 建設課 建設班 復興支援専門員
かめい じゅん
亀井 純 さん
復興庁より松島町に派遣

AREA information

復興や防災にまつわるニュースをお伝えします



菖蒲田海水浴場7月13日(土)～海開き
毎年多くの海水浴客で賑わう菖蒲田海水浴場。7月27日(土)には「TBC夏まつりin七ヶ浜」や「復興花火(20時～、雨天翌日)」を予定しています。

- 日時:2019年7月13日(土)～8月18日(日)
- 7月]平日10:00～16:00、土日祝日9:00～16:00 [8月]9:00～16:00
- 住所:宮城県七ヶ浜町菖蒲田浜字長砂
- 駐車場:1,000台(1日600円)
- 交通:JR仙石線多賀城駅より
町民バスぐるりんこで約30分 菖蒲田海水浴場前下車、またはミヤコーバスで30分 菖蒲田下車
仙台東部道路仙台北ICより車で20分
- 七ヶ浜町観光交流センター 022-766-8205(七ヶ浜町観光協会)
- HP:http://shichigahama-kanko.com



日本三景の日
日本三景を最初に紹介した江戸時代の儒学者・林春斎の誕生日である7月21日は「日本三景の日」です。「日本三景の日」を記念し、ブルーインパルスが所属する第4航空団による展示飛行やブルーインパルスパイロットによるファンサービスを実施する予定です。

- 日時:7月21日(日)10:00～14:00
- 会場:松島海岸周辺
- 022-354-5708 (松島町産業観光課観光班)
- 催事概要
- 日本三景普及啓発 PR、松島ブランド認定商品の販売等
- 第4航空団による展示飛行 11:30～ (ブルーインパルスとF2戦闘機による編隊飛行)
- ブルーインパルスパイロットによるファンサービス 1回目:9:30～、2回目:13:00～

音楽を通して 息の長い支援を。

稲垣潤一さんは、東日本大震災から8年たった今も支援を継続しています。「松フェス」に出演するきっかけになったのも、そんな支援のひとつでした。「さとう

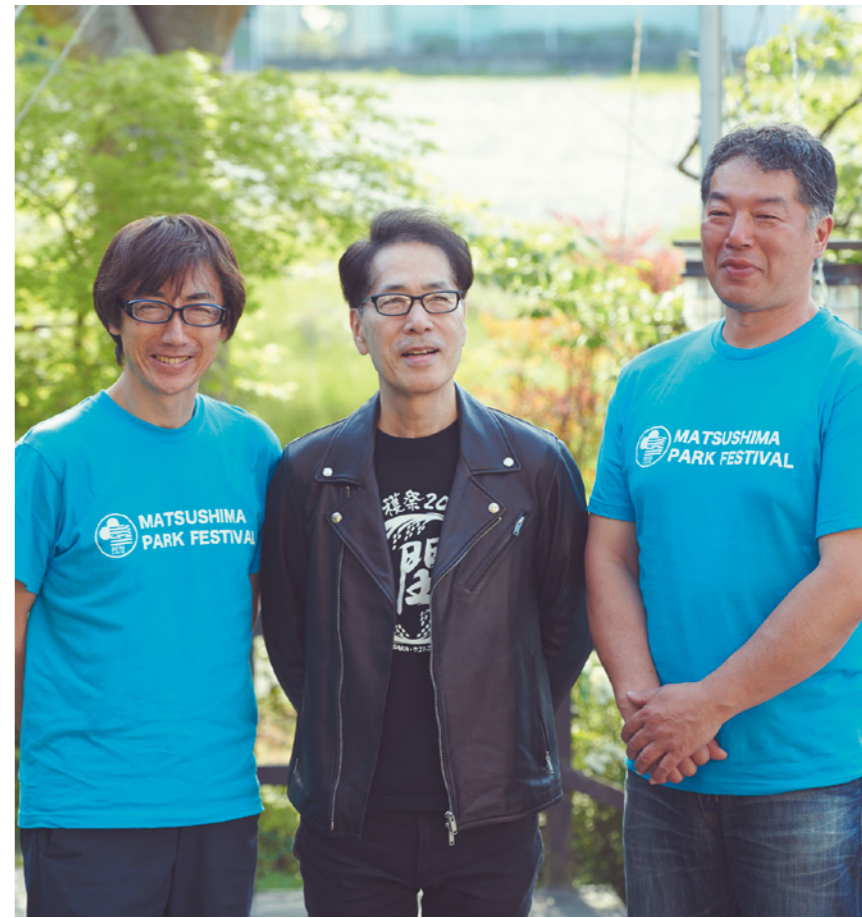


すばらしい環境。いい風景。さまざま側面を知って。

う宗幸さんをはじめとする宮城県のミュージシャンが東北の子どもたちを支援する「みやぎびつきの会」に参加しているのですが、そのチャリティーライブのサポートミュージシャンが、副実行委員長の佐藤達哉さんだったんです。佐藤さんは頷きます。「稲

垣さんに来ていただいて、松フェスの飛躍の年になりました。新田くんとは同級生。音楽にもできることがあるのでは、と小さな有料ライブから始めました。自然の中にステージを組むのはおもしろい。初年度なんか海から霧が上がって、まるでスモークを

七ヶ浜町には、コンサートホールもあります。それが、次に訪れた「七ヶ浜国際村」。太平洋を遠くに見ながら、国際村ホールで知られたいいホールと稲垣さん。震災の時は、七ヶ浜国際村も避難所に



松島パークフェスティバルの新田さん(右)、佐藤さん(左)と。

「本当に」と稲垣さん。「見るだけじゃない瑞巖寺の楽しみ方が生まれましたね。」

松フェスの翌日、稲垣さんは七ヶ浜町へ。「稲垣潤一東北サポート基金」の活動の一環として楽器の修理代などを支援した七ヶ浜町立向洋中学校を訪れました。学校では吹奏楽部の生徒たちが「クリスマスキャロルの頃は」を演奏してお出迎え。「わざわざ練習してくれるなんて」と稲垣さん。「この中の何人かが音楽を続けて、いつかステージで再会できることを夢見ています。」



金色の襷絵を背景に歌う稲垣さん。



「稲垣潤一東北サポート基金」では、これまで1800万円以上の支援を行っています。

なりました。「ピーク時には400人が避難しました」と案内してくれたのは、七ヶ浜国際村の鈴木裕治さん。「セミナー室など小さな部屋がたくさんあるので、地域ごとに分けたり、赤ちゃんがいる家族をまとめたり、避難者に配慮した体制が組みました。中庭の池の水をトイレの水として使えたこと、館内のレストランのシェフが炊き出しをしてくれたことなどもあって、避難所としていい環境だったようです」と鈴木さん。稲垣さんは中庭の池を見ながら「造った当初は、そんなふうに使われるなんて考えていなかったでしょうね」と感慨深い様子。「今来ると、ここが避難所だったとは想像がつかない。復興が進んだこともあるでしょうし、みなさんの努力の賜物なのでしょう。昨日と今日歩いた場所は、復興が進んでいるなど思える場所が多く、素晴らしい環境だなと思いました。でも、まだまだ支援の手が必要な場所、人がいます。ひとつの場所だけでなく、宮城のいろいろな側面を見てもうらやましいなと思います。」

ここに注目!
NOW IS. EYE'S

明治～昭和初期から外国人避暑地として知られる七ヶ浜町。「七ヶ浜国際村」では交流の歴史を背景に、ライブや演劇、展示などを行っています。中庭の池を望むカフェ・レストランは地元住民に人気。



七ヶ浜国際村の「国際村ホール」のステージで。「津波の時は、向こうにトラックが浮いていました」と鈴木さん。

check! 01

ハリケーンカトリーナを
きっかけに学ぶ「復興」



ハリケーンカトリーナの後、仮設住宅の質がよくなったため、恒久住宅として使用することになった住宅。日本の仮設住宅とは違った珍しい事例。

東北大学災害科学国際研究所の国際研究推進オフィス所属の准教授、マリ・エリザベスさんの専門は建築です。「住宅復興について研究しています。国際的災害復興、住宅復興、コミュニティの復興計画が専門です。この研究を始めたきっかけは、ハリケーンカトリーナでした。」

カトリーナは、フロリダ州など3つの州で大きな被害をもたらし、特にルイジアナ州のニューオーリンズ市では土地の8割が水没、数百名が亡くなった大災害。

当時、ワシントン大学で建築を学んでいたマリさんは、自国で起こったこの大きな自然災害に衝撃を受けたとはいいます。

求められるのは、
人間中心
住宅復興



check! 02

被災者の声に
真摯に耳を傾けよ

このときから、災害後の住宅課題について調べたいと思ったマリさん。「阪神淡路大震災後の街づくり、アメリカの災害後の街づくりについて比べるため神戸大学に留学しました。ハリケーンカトリーナでは、多くの被災者が州外への避難を余儀なくされるなど、必ずしも被災者に寄り添った復旧復興ではありませんでした。阪神淡路大震災後の住宅復興においても、アメリカ同様の問題があり、



2013年、台風ヨランダにより大きな被害のあったフィリピン。NGOの支援で建設したレイテ島の中心都市タクロバンの住宅。日本ではあまりない事例だが、世界ではNGOによる住宅建設の支援が多い。

「被災者の声に真摯に耳を傾ける」。それが、今後起こりうる災害時の住宅復興の大きな助けとなるのである。

これらをクリアするためのリサーチがしっかりと活かされればよかったのですが、残念ながら、東日本大震災でも同じことが起こってしまいました。

それは、迅速な対応を重視するがあまり、東北の気候を加味せず断熱材なしで作られた仮設住宅であったり、土地の問題でバラバラにされたしまったコミュニティであったり。マリさんは、研究を通して、人間中心住宅復興の必要性を実感しています。「住民のニーズに合うようなものを作っていくために、実際にそこで暮らしている人の声に耳を傾けることが大切です。日本は、社会福祉という考えをベースにして困っている人に一番厚い支援をするべきだと多くの人が思っているでしょう。それはとても素晴らしいことだと思わなくてはなりません。」

NOW IS.
防災
7.0.1.1
BOSAI FRONT LINE

PROFILE

マリ・エリザベス 准教授



ワシントン大学卒業後、神戸大学へ。2014年より東北大学災害科学国際研究所所属。災害後の移転に関する政策と住宅復興を研究している。



INFORMATION from MIYAGI

〔宮城県からのお知らせ〕

01 「ツール・ド・東北2019」が開催されます。

2013年より開催され、今年で7回目を迎える自転車イベント。順位を競うレースではなく、津波の被害を受けた宮城県沿岸部を走りながら、被災地の現状を見てもらうファンライドです。大会を支えるボランティアは7月31日まで募集しています。詳しくはHPを参照してください。



- 開催日時
9月14日(土)・15日(日)
- HP
<https://tourdetohoku.yahoo.co.jp/>

02 応急仮設住宅の
供与期間延長

応急仮設住宅(プレハブ・民間賃貸借上げ住宅など)にお住まいの方のうち、下記の要件に該当する方の供与期間を、最長で令和3年3月31日まで延長する手続きを進めています。延長を希望する方は、届け出が必要です。被災時にお住まいの対象市町からの今後の案内をご確認ください。

- 対象市町
石巻市、気仙沼市、名取市、東松島市、女川町
- 要件
自宅の再建は決まっているが、災害公営住宅や防災集団移転など公共事業の工期などにより退去できない方

県震災援護室 ☎022-211-3257

MEDIA INFORMATION



みやぎ復興情報
ポータルサイトは
こちらから!



<https://www.fukkomiyaagi.jp>

宮城の復興情報を発信する、「みやぎ復興情報ポータルサイト」をリニューアルしました! 復興に関するお知らせや復興の進捗状況、復興に向けた取り組みなどを発信します。

最新情報を
ブログで!

ブログピックアップ

宮城発!
元気と食の
最新情報



一般社団法人
IkiZen

震災復興に軸足を置き、被災地企業の販路開拓や商品開発、広報活動支援などを行っています。

昨年NOW IS.Vol.32に出演した島山美由紀さんのユニット Port of Notes。2019年3月2日、8年ぶりとなるライブで気仙沼の内湾に優しい音色を届けました。8年ぶりのライブで感じた事とは?当日のライブレポートを交えながら、2人の想いを綴ります。

語り部が
本当に
語りたこと



宮城県には、東日本大震災での体験や得られた教訓を多くの人に伝えたいと、語り部活動が各市町で行われています。このブログでは、語り部が本当に語りたことをご紹介します。

2011年夏頃のスタートから1日も欠かさずとなく運行されてきた「南三陸ホテル観洋 語り部バス」。今回は、実際に語り部バスに乗り、南三陸ホテル観洋のスタッフでもあるガイドの伊藤 俊さんにお話を伺いました。

「みやぎ復興情報ポータルサイト」内の「NOW IS.復興レポート」をご覧ください。

●いまを発信! 復興みやぎ



SNS「いまを発信!復興みやぎ」では、取材チームが見た被災地の「いま」を発信しています。皆さまからの投稿もお待ちしております。ハッシュタグ「#fukkomiyaagi」をつけて、撮影した画像をお寄せください。

●NOW IS.メールマガジン

NOW IS.の発行日(土日・祝日のときは翌平日)にメールでお知らせします。

NOW IS.メールマガジン で検索して登録!

取材
こぼれ話
Voice
from
STAFF

松島の景観

「歩道の色もかっこいいでしょ?」。そう我がことのように、笑顔で話す復興支援専門員の亀井さんの話に「そういえば!」と思い、じっくりと景観を眺めて帰りました。松島は、表面に「秋保石」を使った防潮堤はもちろん、45号沿いの歩道は石畳風になっていて、照明も景観に配慮されたつくりになっています。ぜひ、松島を訪れた際は、隅々まで松島の「景観」を楽しんでみてください。



みやぎのタカラ

Treasures of Miyagi

宮城県が得た震災の教訓や復興の道筋は、未来に役立つ宝に育ちつつあります。
この地で生きる人々の想いととも、世界に発信していきます。



FILE
No. 3

松島パークフェスティバル

松島
パークフェスティバル
実行委員会

手作りのフェスが
まちを巻き込み、拡大。

松島パークフェスティバル実行委員長の新田一修さん、同じく副実行委員長の佐藤達哉さんら、地元の有志が2015年に立ち上げた音楽フェス。当時閉鎖したばかりだった「マリンピア松島水族館」の跡地で、7組のミュージシャンのライブからスタートしました。

2019年は、5月25日、26日の2日間にわたって、170組のミュージシャンが出演。ステージは沿岸部のさまざまな場所に散らばり、瑞巖寺本堂をはじめ、五大堂、雄島、芝生広場など、松島のあちこちで音楽が鳴り響きました。プロのミュージシャンはもちろん、地元の高校生が音楽を披露するステージもあり、町内外から1万人以上の人々が集まりました。

町内の人々や店舗との連携も進み、今年松島のマルシェ「まつ市の市」ともコラボ。飲食店や観光スポットを巡るスタンブラーも実施し、音楽とともに松島のまち全体を楽しめるイベントに成長しました。



NOW IS. vol. 39

発行：2019年7月11日 宮城県震災復興本部（事務局：震災復興推進課）
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
Tel: 022-211-2408 Fax: 022-211-2493

『復興情報発信プロジェクト NOW IS.』は、宮城の復興の「いま」を伝えるプロジェクトです。

 宮城県
Miyagi Prefectural Government